

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立五条小	学校	児童数	160
---------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.11	19.96	30.71	45.68	48.22	9.14	153.54	18.33	53.09
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.69	17.83	38.56	39.78	29.71	9.74	135.66	11.24	51.26
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は8項目中5項目、女子は3項目で大阪市平均と全国平均を上回り、特に男子の「体力合計点」においては非常に高い数値となっている。質問項目では「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して肯定的に回答する児童は男子88%（全国93.2% 大阪市93.4%）女子は89.4%（全国86.2% 大阪市84.5%）となり男子は大阪市・全国平均ともに下回っているが、女子は両方とも上回っている。1週間の総運動量について60分未満と答える児童は男子が5.4%（全国9.2% 大阪市11%）、女子16.6%（全国16% 大阪市19.9%）どちらも大阪市平均は上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の学習では、児童の意欲を引き出すための手立てとして、授業の場づくりを工夫したり、学習カードを作成したりしている。また職員研修を行い、児童が「できるようになりたい」と思えるような「技」の伝達講習も実施した。本校は学級数が多いため、運動場は複数学級での共用となる。低学年においては講堂も共用となる。そのため場所を広く使う活動には制約があるため、狭い場所でもできる運動、俊敏性や柔軟性を高める運動が多くなった結果、それに関連する種目の記録が高まっていると考えられる。また運動量の不足を補うためにICT機器を活用し、効率的に技術の向上を目指すとともに、友だちと対話しながら高めあうことで子どもたちが楽しく運動できるようにすることも心掛けてきた。課題としては、運動に対して後ろ向きな児童に対して、少しでも前向きになるような働きかけが足りていないことである。複数学級が一齊に授業をするため、例えば鉄棒の逆上がりベルト等の補助具が足りず、運動に苦手意識がある児童に対して「できた」や「できるかも」という感覚を持たせるのが難しい。今後そのような教具を計画的に揃えていくことも必要と考える。